

キャラクター名
クリスタライザー

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	暗殺者	カヴァー	
	オプション		年齢		性別	
覚醒	忘却	衝動		恐怖	初期侵食率	34 %
出自		経験			邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	16
感覚	3	1	3			7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	2	0	0			2	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	5		RC			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
銃剣 (ミドル)	白兵	8r+1	3	17		1,2,4,5使用
銃剣 射出	射撃	14r+5	3	34		1,2,3,4,5,S 使用
銃剣 射出 斧弩	射撃	12r+5	3	53		1,2,3,4,5,7,8,S
銃剣 射出 侵食率10	射撃	16r+17	3	48		1,2,3,4,5,6,9,S 防衛無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の品:色褪せたロボットのおもちゃ	
カジュアル	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
Dロイス:錬金術	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:バロール	2	2	メジャー	至近	自身			
効果: C値-LV								
インフィニティウェポン	5	3	マイナー			自動		
効果: 攻撃力7+LV×1の白兵武器								
ダブルクリエイト	1	3	マイナー			自動		
効果: 武器二つ作成								
魔弾の射手	3	4	メジャー	視界	単体	射撃	SLV回	
効果: 2つの武器の合計で攻撃,破壊される								
瞬速の刃	3	3	メジャー	武器	単体	白兵/射撃		
効果: 判定D+LV+1								
クリスタライズ	3	4	メジャー			シンドローム	100	
効果: S3回 攻撃力LV×3 装甲無視								
カスタマイズ	3	3	メジャー	武器	単体	白兵/射撃		
効果: 判定D+LV								
剣精の手	2	2	オート		自身		2	
効果: 判定直後ダイスの目を10に変更								
スプリットアタック	3	4	シンドローム			白兵/射撃	80	
効果: C1回 対象の数をLV+1体								
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	単体	白兵/射撃		
効果: 攻撃力+LV×3、判定-2D								
魔人の弩	3	2	メジャー	武器	単体	白兵/射撃	リミット	
効果: SLV回 攻撃力+10								
偏差把握	★							
効果:								
成分分析	★							
効果:								

「今度こそ助けよう。だいじょうぶ。もう怖くない。ぜんぶ守るから。そのためなら俺はどうなってもいいから。キミがたすかるのであれば、すくえたのならそれでいい、それがすべてだ。」
 氷晶の今までの記憶を全て失い、捨てられてしまった残骸の末路。残されたものは救えなかった誰かの幻影と果てしなき想いの衝動のみ。
 輝針異変の当事者である。事件後はUGNの主に仕事を請けていた。その後、輝針異変の関係者と結ばれ、子を儲ける。しかし、その同年UGN最後の任務として赴いたが、消息不明となり【クリスタルシールド】だけが発見され、死亡認定される。

真相はレネゲイドクリスタルを求める組織に目を付けられ、最後の作戦の際、強襲をかけられる。その後、組織に拉致され様々な実験・改造手術を繰り返され、ほとんどの記憶を失った。自分の認識をはっきりしたときには研究所はすでに崩壊していた。
 彼に残っているものはクリスタルの扱い方と様々な戦闘技術。救うことができず、何もできずに死んでしまった顔も知らない誰か。童子のメモリーだった残骸である。生きる理由もなく彼が継ぐものは色褪せたロボットのおもちゃのように、助けるために壊れるまで続けることを理想と掲げる。《正義の味方》は悪を許さず、誰かを救うことが正しい。相手を虐げ、傷つけることは決して許さないという信念で行動する。それは過去の彼の奥深くある[守護者]としての人格思念と願望が暴走している形でもあるため、自分のことを下敷きにし、いつ死亡、又はジャーム化してもおかしくないほどレネゲイドと人間性が不安定である。厄介ごとに巻き込まれると最後まで面倒はみる。(それは束の間の時間だけだ..その時間が終わる時、彼の正義はどこに行くのだろうか?)
 最近をよく夢を見る。暗闇の中、和服を着た少女が俺に向かってこう言う。「おまえは私によく似ている。そして繰り返す。同じ過ちを」そこで夢は覚めてしまう。(過ちは輝城卓5話参照)

